



# 対がん協会報

1部77円(税込み)

第729号

2023年(令和5年)  
7月1日(毎月1日発行)

公益財団法人 日本対がん協会 「日本対がん協会」と「対がん協会」は登録商標です

〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル7階  
☎ 03-3541-4771 FAX 03-3541-4783 <https://www.jcancer.jp/>

主な  
内容

- 2面 垣添会長「みちのく潮風トレイル」ウォーク完結
- 3面 2022年度RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞 決定
- 4面 ジャパン キャンサー サバイバーズ デイ 2023 開催

## がん検診の受診率向上へ

### 厚生労働省が自治体の好事例を分析

## 受診率向上施策ハンドブック (第3版)公開

日本対がん協会も参画

科学的根拠に基づき、国が推奨するがん検診の受診率向上のため、2020～22年度に実施された「がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業」を受け、厚生労働省は受診率向上につながる可能性のある好事例を分析し、「エビデンスに基づく全国取り組み分析～受診率向上施策ハンドブック(第3版)～」にまとめた。日本対がん協会はこの事業に参画しており、2023年度は同省から「がん検診の受診勧奨策等実行支援事業」の委託を受け、全国の自治体が受診率向上のための施策を主体的に取り組めるよう支援する。

実証事業では、全国の好事例を集約して協力自治体で実施し、どのような手法で取り組むことが効率的かを検証した。また、全市町村を対象に、がん検診での取り組みについてアンケート調査を実施し、回答内容と、がん検診の受診率(地域保健・健康増進事業報告など)を照合するなどして受診率の向上につながる可能性のある取り組みが多く見つかった。

ハンドブックは、自治体のがん検診担当者に向けて、受診率の向上につながった事例を紹介するもので、「検診の案内」「申し込み」「検診当日」「受診勧奨」とがん検診の流れに沿った構成になっている。勧奨方法をはじめ、検診体制のあり方、申し込み方法の改善など多岐にわたって解説している。

巻頭には、受診率向上のためのポイントを一覧化した「がん検診受診率向上チ

ェックリスト」が設けられており、自治体の担当者は、あらかじめ対策が必要な項目をチェックすることで、効率的に具体的な施策を検討できるようになっている。

また、ハンドブックの各ページでは、アンケートの分析結果が紹介されている。アンケートは、自治体が取り組む受診率向上のための施策と受診率の相関をみるのが目的。集団検診・個別健診の割合や費用、回数、申し込み方法、受診のリマインドなど幅広く尋ねる内容で、1329市町村から回答を得た。

このうち、受診券の発行対象と受診率の関係を大腸がん検診でみた場合、対象者全員への発行は受診率16.6%、一部発行は15.4%、発行なしは13.9%となった。また、乳がん検診の自己負担額と受診率の関係では、無料は受診率25.6%、1～500円は23.6%、500

～1000円は22.5%、1000～2000円は21.9%となった。対象者へ

の周知に加え、受診券の発行、費用負担の軽減に取り組むことで受診率向上の可能性があることが分かる。

がん死亡率を減少させるためには、科学的根拠のあるがん検診を、適切な精度管理体制を整えた上でを行い、受診率を高く維持することが必要。4月からの第4期がん対策推進基本計画では、受診率目標が従来の50%から60%へ引き上げられた。しかし、これまでの50%の目標を上回ったのは男性の肺がん検診(40～69歳)など一部にとどまっている。

がん検診の受診勧奨策等実行支援事業では、好事例を参考に各自治体が地域の実情に合った方法で施策を実施できるよう支援するもの。日本対がん協会は年3回の研修会などを通し、各自治体とともにがん検診の受診率向上に取り組む。

ハンドブックは厚生労働省HPからダウンロードで入手できる。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_32470.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32470.html)

#### 受診率向上施策ハンドブックの目次

- ・がん検診受診率向上チェックリスト
- [01] 検診の案内について
  - 《事例》京都府宇治市：検診ガイド・広報の内容の見直し
- [02] 申し込みについて
  - 《事例》京都府福知山市：Web申込を導入
  - 《事例》広島県東広島市：申込方法を変更し、資料の見直し
- [03] 検診当日について
  - 《事例》愛媛県：検診の待ち時間における受診率との関連性
- [04] 勧奨について
  - 《事例》京都府福知山市：受診率向上に向け個別に再勧奨
  - 《事例》東京都八王子市：割引チケットの導入
  - 《事例》希望の虹プロジェクト：無料で使える受診勧奨資料の提供
- [05] その他について
  - 《事例》東京都港区・静岡県長泉町：他にも受けられる検診を可視化
  - 《事例》東京都八王子市：大腸がんキットの事前送付
  - 《事例》広島県：精密検査を受診できる医療機関一覧を提示
  - 《事例》北海道：薬局・薬剤師との連携により声かけを実施

データ解析から読み解く！受診率向上に向けた対策  
その他自治体の参考事例



受診率向上施策ハンドブック  
(第3版)

# がんサバイバー、震災被災者を励ます 「みちのく潮風トレイル」ウォークが**完結**

第4回は宮城県松島沖で島めぐり

日本対がん協会・垣添忠生会長



渡船で島へ渡る垣添会長

東北地方の太平洋岸をつなぐ自然歩道「みちのく潮風トレイル」をたどりながら、がんサバイバーや東日本大震災の被災者を励まし、交流を深めてきた垣添忠生・日本対がん協会会長の旅は6月21日、宮城県松島沖の島々を巡って完結した。青森県八戸市を3月末に出発して2カ月余り。これまで多くの応援が寄せられた。

島巡りは当初6月19～23日の予定だったが、21日の一日に変更された。垣添会長は20日夕に宮城県入り。翌21日朝、東松島市(宮戸島)の奥松島遊覧船案内所そばから渡船でトレイルを構成する塩竈市の寒風沢(さぶさわ)島へ上陸。その後、島伝いに野々島、桂島と歩き、みなとオアシス・マリゲート塩釜で全日程を終えた。

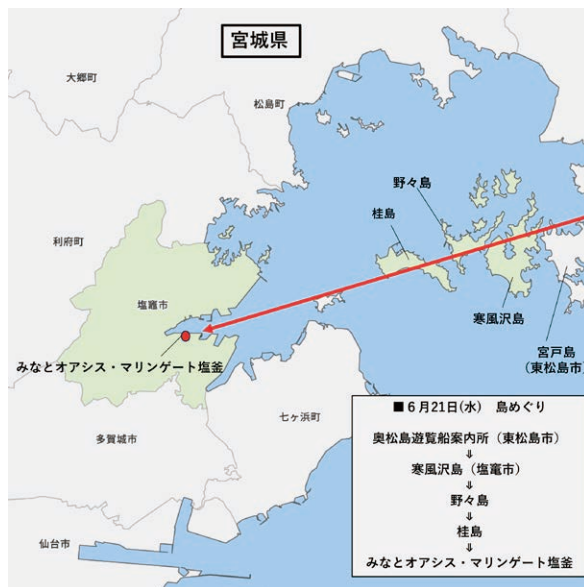
みちのく潮風トレイルは青森県八戸市の蕪島(かぶしま)～福島県相馬市の松川浦を結ぶ約1000kmの自然歩道。環境省が東日本大震災の復興の一環で整備し、2019年に全線が開通した。垣添会長は3月27日から4回に分けて歩き、第3回の5月19日に南側の発着点となる福島県相馬市の松川浦環境公園に到着した。この間、コースに周辺点在す

る震災遺構を見学し、「津波の破壊力の巨大さをいやというほど見せつけられました」「リーダーの判断が如何に大切か伝わってきました」。また、復興に尽力している地元の被災者、がんサバイバーの方たちとの対話を重ね、「人間の強さを学ばせていただきました」と話した。

垣添会長のウォーキングによるがんサバイバー支援は、2018年の「全国縦断がんサバイバー支援ウォーク」以来。妻をがんで亡くし、がんサバイバーでもある垣添会長は、想いもよらずがん罹患者と、突然の大地震で被災した人は基本的に同じだと考えている。今回のウォークでは、「がんサバイバーを支援しよう」「3/11を忘れない」という二つのロゴの幟を掲げ、緑色のジャンパーに、赤色で「3/11を忘れない」とのピンバッジを付けて被災者、がん患者の支援を呼びかけた。

期間中、映画監督の野澤和之氏が同行取材しており、ドキュメンタリー映画『Dr.カキゾエ歩く処方箋』を制作する。垣添会長は「この旅に出て本当に良かった」と話している。旅の様子は、インスタグラムで振り返ることができる。

期間中、映画監督の野澤和之氏が同行取材しており、ドキュメンタリー映画『Dr.カキゾエ歩く処方箋』を制作する。垣添会長は「この旅に出て本当に良かった」と話している。旅の様子は、インスタグラムで振り返ることができる。



インスタグラム URL: <https://www.instagram.com/t.kakizoe/>



がんサバイバー支援の幟を手に野々島を歩く垣添会長



みちのく潮風トレイルの撮影班。手前左が野澤監督



# 若手2医師が 米国テキサスMDアンダーソンへ留学

3年ぶり  
実施

2022年度リレー・フォー・ライフMOD奨励賞

日本対がん協会

日本対がん協会は、「リレー・フォー・ライフ(RFL)マイ・オンコロジー・ドリーム(MOD)奨励賞」の2022年度の受賞者を発表した。国立がん研究センター東病院呼吸器内科(千葉県柏市)の柴田祐司医師と、福島県立医科大学低侵襲腫瘍制御学講座の宮川哲平医師で、ともに米国有数のがん専門病院で

あるテキサス大学MDアンダーソンがんセンターで1年間研修する。

同賞は、日本対がん協会と国内各地の実行委員会が行うチャリティ活動「リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)」に寄せられた寄付金をもとに、若手医師を育成し、地域のがん医療の充実を図るため、2010年度に

創設された1年間の留学研修プログラム。MDアンダーソンと米シカゴ大学の協力、一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクトの支援により、2019年度までに18人を送り出した。2022年度は3年ぶりの実施になる。

両医師の受賞の言葉と抱負を紹介する。



## 柴田祐司 医師

この度は、RELAY FOR LIFE My Oncology Dream奨励賞にお選びいただき、深く感謝申し上げます。このような栄誉ある賞をいただき、本当に嬉しく思うとともに、身の引き締まる思いです。

私は、これまで横浜市立大学附属病院、神奈川県立がんセンターや国立がん研究センター東病院で、多くの先輩医師とともに議論し大規模比較試験のエビデンスと診療経験を自身の進行期の肺癌患者さんの治療に有機的に結びつける大切さを学びました。また、これらの病院で多数の臨床研究を計画・実施することにより、肺癌の新規治療の開発および治療標的の探索に努めてきました。

近年の肺癌治療においては、遺伝子解析技術の進歩により、個々のがんゲノムを解析し、その結果に基づいて有効な治療を選択する、がん個別化医療が飛躍的に発展しています。現状の肺癌治療の課題を見極め、更に発展させるためには、臨床研究のみでなく、がんの発生・増殖や薬剤の作用・抵抗性のメカニズムを明らかにするための基礎研究や、臨床研究につなげるためのTranslational researchが重要です。

私が2023年4月より留学しているMD Anderson Cancer Centerは米国でも有数のアカデミアであり、米国を代表する研究者であるJohn Heymach教授のもとで、基礎研究だけでなく、米国内の他機関、他国のアカデミアならびにグローバル企業との共同研究などのノウハウを学び、将来日本の肺がん治療開発を牽引していきたいと考えております。

今回の留学が、RELAY FOR LIFEや日本対がん協会の皆様にご支援頂いていることを忘れることなく、皆様のご期待に応えられるよう、ヒューストンの地で研鑽を積みたいと考えております。



## 宮川哲平 医師

このたびは、RFL・マイ・オンコロジー・ドリーム(MOL)奨励賞にお選びいただき、MDアンダーソンがんセンターで学ぶ機会をいただき、誠に

ありがとうございます。大変嬉しく、光栄に思うのと同時に、この賞がRFLに関わる多くの皆様の支援と期待の上に成り立つものであると感じ、身の引き締まる思いです。

私は消化器外科医として、大腸癌を専門とし福島県の市中病院で手術に明け暮れる毎日をご過ごしています。これまで大腸癌のなかでも特に、直腸癌の集学的治療に興味を持ち、臨床および研究活動を行ってきました。直腸癌に対する治療は日本と欧米では大きく異なります。日本では依然として手術が治療の中心です。一方欧米では手術に加え、薬物療法や放射線治療が標準的に行われ、集学的治療の成績向上により近年では手術をしないで経過をみるWatch and Wait療法なども世界的に注目を浴びています。

われわれ消化器外科医も今後は手術だけでなく、集学的治療にも精通し、患者さん一人ひとりにとっての最適な治療を考えることが求められます。

今回、米国を代表する大腸外科医であるGeorge J.Chang先生のもとで研修させていただくことになりました。日本と米国の直腸癌に対する治療戦略の違いを実際に経験し、将来的に双方の優れた点を組み合わせた直腸癌に対するより適切な治療戦略を構築することが、いまの私の夢です。

最後になりますが、このような素晴らしい機会を与えてくださった皆様のご期待に沿えるように精一杯頑張りたいと思います。

**ジャパン キャンサー サバイバーズ デイ 2023 日本対がん協会**

# 「つながり支え合う」テーマに

**がん患者・家族、  
支援者らが一堂に**

がん患者・家族が必要な支援を受けられるように情報を提供するイベント「ジャパン キャンサー サバイバーズ デイ 2023」が6月4日、国立がん研究センター(東京都中央区)で開かれた。「つながり支え合う」をテーマに、日本対がん協会が主催し、医師やがん体験者による講演、トークセッションに加え、約30の支援団体・企業が会場にブースを出展。約400人が来場したほか、講演などはオンラインで配信された。

開会挨拶で、日本対がん協会の垣添忠生会長は「がん患者は孤立無援の状態ではなく、実際にはさまざまな支援の手がある。生涯で2人に1人はがんになる時代。がんは普通の病気という認識が広まり、いろんな人を認める多様性社会の実現を夢見て協会は行動している。本日が充実した日になることを願います」と述べた。

講演では、「支えらえる勇気、支える心がまえ～がん患者にとっての3種類のソーシャルサポート～」と題し、保坂サイコオンコロジー・クリニック院長の保坂隆医師(精神腫瘍科)が、患者と家族から支える人の関係をどう持つべきか語った。ソーシャルサポートは人とのつながりから得られる支援のこと。その有無が病気の回復や予後に影響するという。保坂氏は、情緒的(安心や癒しなど)、手段的(車で送迎、買い物など)、情動的(正しい情報の提供など)の三つのソーシャルサポートを挙げ、家族や友人、主治医らを例に説明した。また、患者と家族の場合、患者本人は「申し訳ない」という気持ち、家族は「どうしたらいいのかわからない」という戸惑いなどから会話が減り、悪循環に陥りがちになる。患者本人は思い切って家族に頼る「支えられる勇気」が必要であり、家族は患者本人に意思決定をさせ、自律性を失わせないよう「支える心がまえ」が大切だとした。

続いて、NPO法人いきいき和歌山



がんサポート理事長の谷野裕一医師(乳腺外科)が「地域にあった治療・寄り添いのありかた」をテーマに講演した。谷野氏はNPO設立後、ピアサポーター育成や、がん在宅診療のため、病院スタッフ、在宅スタッフの合同勉強会などに取り組んだ。がんになっても生き生きと暮らせるようになるための地域の課題として、①専門医の不足などによる専門性の確保、②治療の選択肢と情報提供、③認定看護師や専門看護師の不足で患者とともに治療やケアの方針を決める共有意思決定の難しさを指摘。不足を補う一例として、オンライン会議システムを使い、九州や東京などの患者・家族から求められたセカンドオピニオンに対応した経験を紹介した。

最後に、「『お互いさま』の関係を考える」として、がん体験者の講演とトークセッションがあった。「支え“る／られる”を変えていく」の題で講演した谷島雄一郎さんは、2012年に希少がん(GIST)を発症。治療中の2015年に

「がん経験を新しい価値に変えて社会に活かす」をテーマにしたプロジェクト「ダカラソクリエイト」を立ち上げた。ポジティブな言葉も相手には逆効果の場合もあることから、つらい状況でもホッとできるようなLINEスタンプなどを作った。周囲との関係では、患者本人が必要なことをき

ちんと伝え、支える側は居場所をなくさないようにすることが大切だと話した。

緩和ケア医の大橋洋平医師は「依存と自立、ふたつの支え」とのテーマで講演。2018年にGISTが見つかり手術を受けた。抗がん剤治療を続けながら仕事に復帰し、自身の体験をYouTubeで発信している。患者本人は医療者に頼り(依存)、できることはする(自立)という二つのことができるよう、周囲の人たちが支えることが大事だと話した。

トークセッションでは、日本対がん協会で無料電話相談を担当する北見知美マネージャーが進行役になり、意見交換した。患者の相談相手について、谷島さんは「支える側も人それぞれ。その時の悩み、感情によって変えることも大切では」。支える側の心構えについて、大橋さんは「患者として、無理なことを頼りたいことは頼らせてもらう。そう言える関係が築かれると生きやすくなる」と話した。





# がんアドボケート活動助成団体が活動報告 JCSD2023

日本対がん協会は、がんサバイバーや家族の支援を目的にした事業計画に対し、実現させるための資金を助成する「がんアドボケート活動助成」を実施している。JCSD2023では、2022年度に助成を受けた7団体から「がんと運動」「地域のがんママを支える」など5つの事業について報告があった。



2022年度の活動内容をJCSD2023の会場で報告する団体代表者ら

## がんと運動

がんサバイバーを対象に、就労支援を行う「一般社団法人がんと働く応援団」の吉田ゆりさん、体力づくりをサポートする「ゆる<sup>2</sup>トレ実行員会」の石野田神さん、旅行やアクティビティを企画する「ReViv(リバイヴ)」の相澤美穂子さんらが協働して「ゆる<sup>2</sup>トレプロジェクト」として取り組んだ。キャリア相談の中で、体力や体調に悩むがんサバイバーが少なくない。活動では①運動を始めるきっかけづくり、②ボディコンディションの向上、③がんと共に生きる仲間との出会いを楽しむことを目的にした。医療者が監修したゆっくりした動きで気軽に参加できるエクササイズをオンラインで定期的に指導するなどし、代々木公園でのウォークイベント、高尾山ハイクを実施した。

## 地域のがんママを支える

がんを経験した女性のコミュニティ Colorful Ribbons(カラフルリボン)が

取り組んだ。代表の高倉理恵さんが子育て中の乳がん患者らが気軽に相談できる地域密着型の居場所を提供しようと、西東京市で「がんママのためのカフェ」を3月にプレ開催した。また、がん相談窓口の連絡先などを掲載した冊子を作成して保育園、図書館、飲食店などに設置した。2023年度は西東京市のNPO等企画提案事業に採択され、市の助成で本事業の継続が決まった。近隣の多摩、町田、立川の各地域で活動する団体と連携し、名称は「がんママカフェ・ひばりが丘」となる。体調や気分に応じて利用先を変えられるという。

## リンパ浮腫と就労

がん治療後の難治性、進行性の後遺症であるリンパ腺障害に悩む人たちでつくる「リンパ浮腫ネットワークジャパン(リンネット)」が取り組んだ。代表の岩澤玉青さんによると、国内の患者数は15万~20万人といわれるが、がんに比べて社会的な認知度は低く、リンパ浮腫や診療、治療に関する情報は入手しづらい。腕や脚のむくみなどによって日常の動作が制限されたり、外見が変化したりするため、働き盛りの人にとってはより深刻な問題になる。患者支援と医療環境の改善が必要ことから、患者や医療者による「リンパ浮腫と就労」をテーマにしたシンポジウムを開催した。社会全体で課題解決に取り組みたいという。

## AYA世代に寄り添う

15~39歳の若年層のがん患者らでつくる「AYA GENERATION+group」

の代表、桜林美美さんが報告した。AYA世代(15~39歳)と小児がん経験者、40歳以上の「プラス世代」を対象に、オンライン交流会などを開催。同世代が抱える課題や関心事をテーマにしたオンラインイベント「AYAまつり」も年1回開催し、2022年は130人が参加した。イベントでは、各地の患者会も紹介するなど、AYA世代の患者に必要な情報を提供した。今年のイベントは年4回の季節開催としており、6月に家族や親しい友人も対象にした交流会を企画した。

## 図書館でがん教育

「がん哲学外来メディカルカフェ シャチホコ記念」の彦田かな子さんが報告した。彦田さんは学校でがん体験を話したことをきっかけに、自宅近くの図書館でがん教育や情報発信を始めた。公共施設の図書館は全国3000か所。研究機関なども含めるとさらに多い。地域に密着した活動ができるという、医療者や患者、死生観、グリーフケアなどさまざまな観点からがんについて考えてきたという。助成金では活動内容を紹介する冊子を作成し、各地の図書館へ配布した。同様の取り組みは地元の愛知県や長野県などへ広がっているという。また、利用者のアンケートの結果から図書館でのがん教育の必要性を実感したという。



2023年度のがんアドボケートセミナー参加者募集および助成事業募集は、今後がんサバイバー・クラブ(<https://www.gsclub.jp/>)のサイトに掲載する予定。

# がん相談ホットライン 03-3541-7830

毎日受け付けています

時間は当分の間、10:00~13:00 15:00~18:00

社会保険労務士による「がんと就労」電話相談の予約はインターネットの専用フォームで受け付けます。がん専門医による相談は今年度休止します



社労士による電話相談

態勢縮小のため  
電話が繋がりにくい  
ことがあります。  
何卒ご了承ください

## 受動喫煙対策などに 関する意識調査

国立がん研究センター

## 飲食店などの標識への認識、 喫煙者の配慮義務などに課題

国立がん研究センターは、5月31日の「世界禁煙デー」に合わせ、受動喫煙対策に関する世論調査の結果を発表した。改正健康増進法の施行で受動喫煙対策が強化され、2020年4月から学校、病院、行政機関などは原則敷地内禁煙、多くの人が使う施設は原則屋内禁煙となった。既存の小規模飲食店などに経過措置はあるが、喫煙場所がある施設には標識の掲示を求め、望まない受動喫煙(他人のたばこの煙にさらされること)の防止を図る。

調査は、改正法施行から3年後の受動喫煙対策の実態、国民意識などの把握を目的に、4月19～26日にインターネット上で実施した。対象は18歳以上の男女で、20歳以上は国民健康栄養調査などから喫煙、非喫煙の年代別人口を推計し、年代別・男女別で回答数を割り振って各1000人になるよう調整した。18～19歳は29人が回答した。

受動喫煙対策が強化されたことを知っているかの質問に対し、「知っている」との回答は喫煙者で60.7%、非喫煙者で29.7%、全体で34.8%だった。一方、「知らなかった(初めて知った)」は非喫煙者の49.2%を占め、普及啓発が依然、課題だとわかった。

「知っていた」などと回答した人に対し、受動喫煙対策の内容を知っているか聞いたところ、「多数の人が利用する施設は原則屋内禁煙」は53.4%、「学校、病院、行政機関などは屋内に喫煙室を設置できない」は51.5%、「小規模飲食店では喫煙できる店とできない店がある」は51.2%となり、過半数が知っていた。一方、「喫煙できる施設・喫煙室の出入り口には標識が掲げられる」「喫煙できる場所に20歳未満の人は立ち入れない」「喫煙室には技術的な基準がある」などを知っている人は23.7～28%だった。

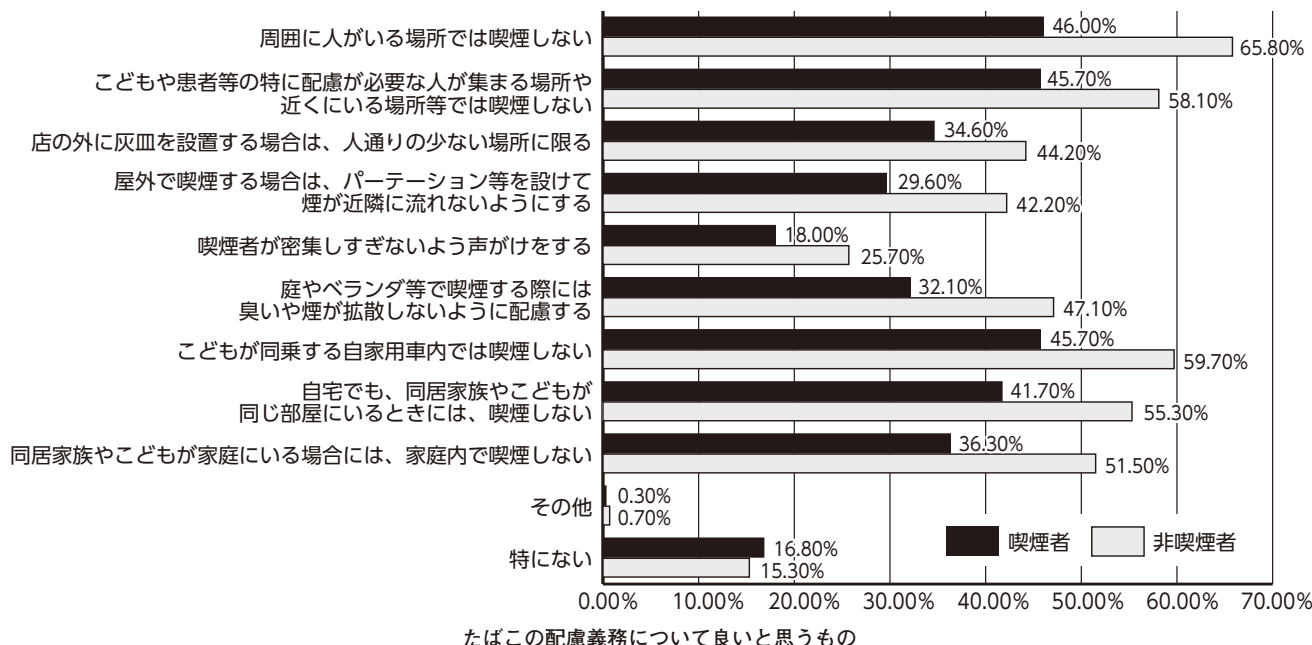
「喫煙専用室あり」「加熱式たばこ専用喫煙室あり」「喫煙可能店」など、喫煙環境を示す標識を飲食店等で見たことがあるかの質問で、「ある」と答えた人は喫煙者で62.4%、非喫煙者で28.3%だった。「ない」との回答は非喫煙者で71.7%、全体で66%もあり、標識に対する認識や意識の低さも課題になっている。

法律では、路上等の屋外や自宅等の私的空間でも望まない受動喫煙が生じないように配慮することを求めている。この配慮義務で良いと思うものを尋ねたところ、非喫煙者は「周囲に人がいる場所では喫煙しない」が68.5%、「こ

どもが同乗する自家用車内では喫煙しない」が58.1%、「自宅でも同居家族や子どもが同じ部屋にいるときには喫煙しない」が55.3%となった。喫煙者も同じ傾向だが、最多の「周囲に人がいる場所では喫煙しない」でも46%にとどまり、非喫煙者よりも割合が低くなっている。

受動喫煙で不快な思いをした場所では、喫煙者、非喫煙者ともに「路上」を挙げ、それぞれ64.1%、74.4%で最多だった。また、喫煙者では「屋外喫煙所の近く」34.3%、「食堂・レストラン・フードコートなどの主に食事を提供する店舗」31.2%が多かった。非喫煙者も「食堂・レストラン・フードコートなどの主に食事を提供する店舗」47.8%、「屋外喫煙所の近く」40.5%となった。屋内での受動喫煙対策が進み、相対的に屋外で不快に感じる機会が意識されるようになったと考えられる。

たばこ対策で政府に力を入れてほしいものは、「たばこ税の引き上げ」が41.9%、「受動喫煙対策の強化」が41.5%となった。また、「たばこの健康影響についての普及啓発活動の充実」が34.9%、「20歳未満の者に対する、たばこの健康影響に関する教育の充実」も34.5%あった。





## 2022年の 人口動態統計月報年計 (概数)

# 死因1位は42年連続でがん

厚生労働省

厚生労働省は6月、2022年の人口動態統計月報年計(概数)を発表した。2022年の全死亡数は156万8961人で、前年の143万9856人から12万9105人増えた。このうち、がんによる死亡数は38万5787人で全体の24.6%を占めている。前年の38万1497人から増加しており、がんは1981年から42年連続で死因の第1位になっている。

人口10万人あたりのがんの死亡率は316.1で、前年の310.7から上昇した。主な死因別の死亡率の年次推移をみても、がんの死亡率は一貫して上昇している。

死因の第2位は心疾患(高血圧性を除く)で、死亡数は23万2879人(人口10万人あたりの死亡率は190.8)となっている。1985年に脳血管疾患を抜いて第2位となり、2022年は死亡数全体の14.8%を占めている。

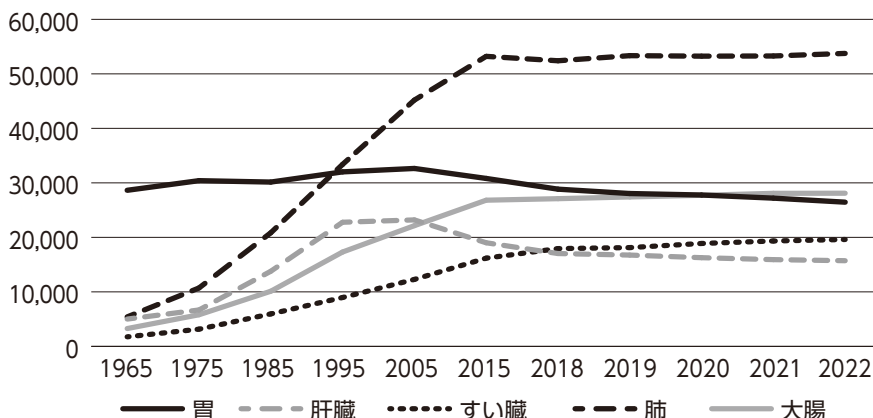
第3位は老衰で17万9524人(同147.1)。1947年をピークに低下傾向だったが、2001年以降上昇し、2018年に脳血管疾患にかわって第3位になった。2022年の死因別の割合は11.4%だった。

第4位は脳血管疾患で10万7473人(同88.1)だった。1970年をピークに低下傾向が続いており、2022年は全体の6.8%となっている。

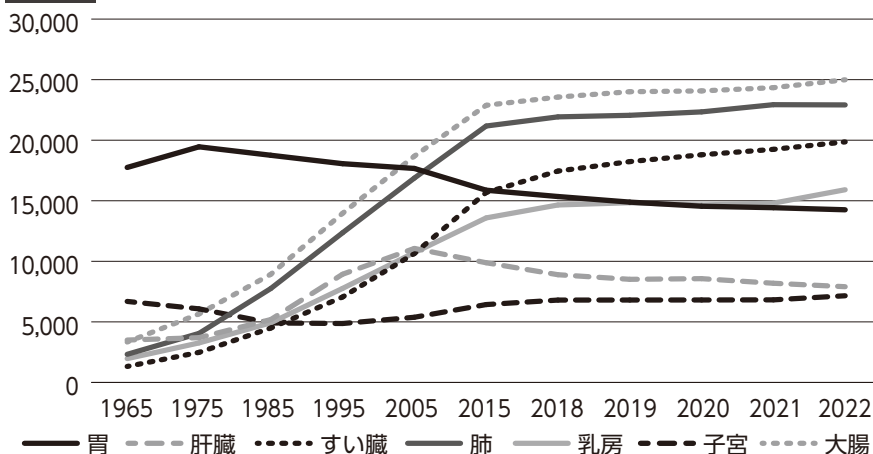
2022年の死因別の死亡数では、肺

### 男性

#### 性別・部位別のがん死亡数の推移



### 女性



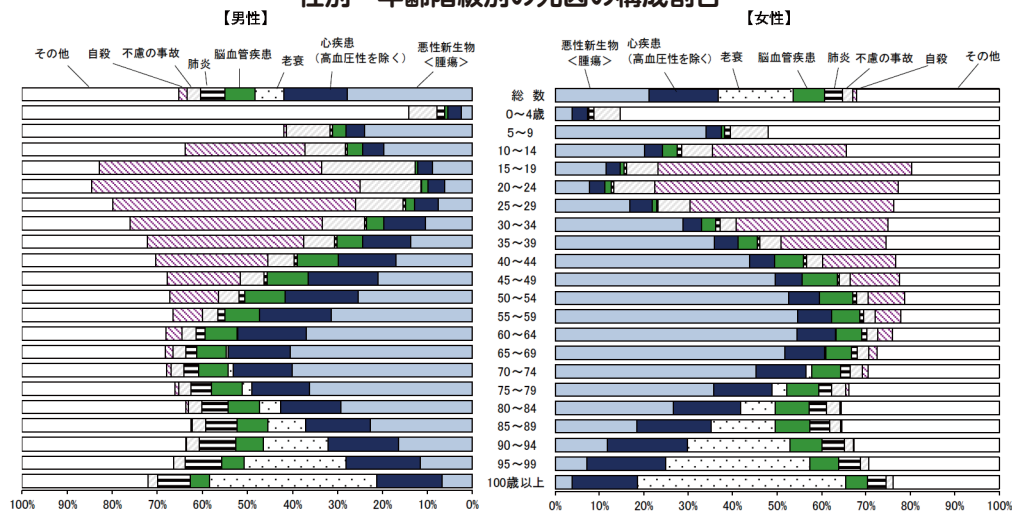
炎が7万4002人、新型コロナウイルス感染症が4万7635人となっている。

男女別・年齢階級別に主な死因の割合をみると、男性は5～9歳と45～94歳ではがん、10～44歳では自殺、95歳以上では老衰が多い。女性は5

～9歳と35～89歳ではがん、10～34歳では自殺、90歳以上では老衰が多かった。がんによる死亡のピークは、男性が65～69歳、女性が55～59歳となっている。また、1歳未満の乳児の死因別の死亡数では、男女とも「先天奇形、変形及び染色体異常」の割合が高かった。

がんの部位別に人口10万人あたりの死亡率をみると、男性は「肺」が最も高い。1993年から第1位が続き、2022年の死亡率は90.6(死亡数は5万3750人)となっている。女性は「大腸」「肺」が高い。「大腸」は2003年から第1位で、2022年の死亡率は39.8(同2万4990人)となっている。

### 性別・年齢階級別の死因の構成割合



2022年人口動態統計月報年計(概数)より

## 2021年度グループ支部 がん検診の実施状況から ◇乳がん

## ■合計

| 支部名 | 受診者数<br>(A) | 要精検者数<br>(B) | 精検受診者数<br>(C) | 精検の結果 |      |         |        |       | 精検受診率<br>(C/B) | がん発見率<br>(D/A) | 陽性反応<br>の集中度<br>(D/B) |
|-----|-------------|--------------|---------------|-------|------|---------|--------|-------|----------------|----------------|-----------------------|
|     |             |              |               | がん(D) | がん疑い | がん以外の疾患 | 異常なし   | その他   |                |                |                       |
| 北海道 | 61,229      | 1,216        | 1,190         | 220   | 1    | 773     | 196    | 0     | 97.86%         | 0.36%          | 18.09%                |
| 青森  | 23,109      | 1,226        | 1,109         | 67    | 0    | 236     | 487    | 257   | 90.46%         | 0.29%          | 5.46%                 |
| 岩手  | 35,280      | 613          | 572           | 104   | 0    | 366     | 102    | 0     | 93.31%         | 0.29%          | 16.97%                |
| 宮城  | 54,342      | 1,607        | 1,573         | 154   | 0    | 241     | 581    | 597   | 97.88%         | 0.28%          | 9.58%                 |
| 秋田  | 16,063      | 997          | 897           | 40    | 13   | 317     | 366    | 161   | 89.97%         | 0.25%          | 4.01%                 |
| 山形  | 34,748      | 1,706        | 1,565         | 95    | 8    | 563     | 899    | 0     | 91.74%         | 0.27%          | 5.57%                 |
| 福島  | 21,136      | 283          | 265           | 45    | 6    | 104     | 99     | 9     | 93.64%         | 0.21%          | 15.90%                |
| 茨城  | 46,667      | 1,267        | 1,215         | 132   | 0    | 684     | 334    | 65    | 95.90%         | 0.28%          | 10.42%                |
| 栃木  | 47,387      | 1,938        | 1,759         | 136   | 35   | 1,040   | 548    | 0     | 90.76%         | 0.29%          | 7.02%                 |
| 群馬  | 21,985      | 835          | 787           | 69    | 3    | 438     | 277    | 0     | 94.25%         | 0.31%          | 8.26%                 |
| 埼玉  | 31,936      | 2,065        | 1,835         | 85    | 46   | 808     | 846    | 50    | 88.86%         | 0.27%          | 4.12%                 |
| 千葉  | 146,911     | 6,059        | 3,821         | 281   | 7    | 2,126   | 1,405  | 2     | 63.06%         | 0.19%          | 4.64%                 |
| 新潟  | 66,129      | 3,555        | 3,331         | 232   | 49   | 1,606   | 1,423  | 129   | 93.70%         | 0.35%          | 6.53%                 |
| 山梨  | 8,396       | 216          | 190           | 15    | 1    | 107     | 64     | 3     | 87.96%         | 0.18%          | 6.94%                 |
| 長野  | 39,970      | 1,853        | 1,622         | 69    | 10   | 709     | 671    | 163   | 87.53%         | 0.17%          | 3.72%                 |
| 富山  | 30,145      | 1,199        | 1,115         | 61    | 4    | 436     | 613    | 1     | 92.99%         | 0.20%          | 5.09%                 |
| 石川  | 18,796      | 1,159        | 1,092         | 60    | 3    | 239     | 541    | 249   | 94.22%         | 0.32%          | 5.18%                 |
| 福井  | 22,209      | 1,357        | 1,245         | 75    | 0    | 624     | 534    | 12    | 91.75%         | 0.34%          | 5.53%                 |
| 愛知  | 3,052       | 261          | 219           | 10    | 0    | 108     | 101    | 0     | 83.91%         | 0.33%          | 3.83%                 |
| 三重  | 28,609      | 1,057        | 987           | 81    | 34   | 521     | 340    | 11    | 93.38%         | 0.28%          | 7.66%                 |
| 滋賀  | 5,308       | 261          | 235           | 18    | 2    | 103     | 111    | 1     | 90.04%         | 0.34%          | 6.90%                 |
| 京都  | 26,763      | 1,210        | 916           | 81    | 9    | 361     | 422    | 43    | 75.70%         | 0.30%          | 6.69%                 |
| 兵庫  | 17,233      | 805          | 681           | 55    | 0    | 360     | 259    | 0     | 84.60%         | 0.32%          | 6.83%                 |
| 奈良  | 1,754       | 30           | 24            | 4     | 2    | 8       | 10     | 0     | 80.00%         | 0.23%          | 13.33%                |
| 和歌山 | 6,512       | 367          | 187           | 14    | 0    | 69      | 104    | 0     | 50.95%         | 0.21%          | 3.81%                 |
| 鳥取  | 10,469      | 714          | 645           | 25    | 0    | 333     | 287    | 0     | 90.34%         | 0.24%          | 3.50%                 |
| 島根  | 8,831       | 343          | 320           | 49    | 0    | 165     | 75     | 31    | 93.29%         | 0.55%          | 14.29%                |
| 岡山  | 14,530      | 385          | 329           | 37    | 9    | 103     | 111    | 78    | 85.45%         | 0.25%          | 9.61%                 |
| 広島  | 12,064      | 722          | 655           | 33    | 3    | 285     | 328    | 6     | 90.72%         | 0.27%          | 4.57%                 |
| 山口  | 4,978       | 390          | 289           | 8     | 4    | 132     | 136    | 9     | 74.10%         | 0.16%          | 2.05%                 |
| 徳島  | 8,583       | 357          | 301           | 13    | 4    | 103     | 77     | 104   | 84.31%         | 0.15%          | 3.64%                 |
| 香川  | 10,633      | 517          | 499           | 42    | 1    | 229     | 227    | 0     | 96.52%         | 0.39%          | 8.12%                 |
| 愛媛  | 24,581      | 495          | 459           | 76    | 6    | 245     | 132    | 0     | 92.73%         | 0.31%          | 15.35%                |
| 高知  | 24,273      | 944          | 849           | 85    | 0    | 383     | 381    | 0     | 89.94%         | 0.35%          | 9.00%                 |
| 福岡  | 53,571      | 3,995        | 3,532         | 167   | 6    | 2,374   | 904    | 81    | 88.41%         | 0.31%          | 4.18%                 |
| 佐賀  | 19,559      | 1,055        | 936           | 52    | 13   | 448     | 423    | 0     | 88.72%         | 0.27%          | 4.93%                 |
| 長崎  | 15,688      | 817          | 759           | 42    | 21   | 396     | 300    | 0     | 92.90%         | 0.27%          | 5.14%                 |
| 熊本  | 30,542      | 1,199        | 1,022         | 76    | 1    | 588     | 356    | 1     | 85.24%         | 0.25%          | 6.34%                 |
| 大分  | 12,015      | 969          | 909           | 39    | 2    | 375     | 493    | 0     | 93.81%         | 0.32%          | 4.02%                 |
| 宮崎  | 9,066       | 325          | 297           | 38    | 2    | 194     | 54     | 9     | 91.38%         | 0.42%          | 11.69%                |
| 鹿児島 | 36,108      | 1,407        | 1,344         | 97    | 6    | 860     | 381    | 0     | 95.52%         | 0.27%          | 6.89%                 |
| 沖縄  | 11,448      | 643          | 551           | 38    | 0    | 322     | 170    | 21    | 85.69%         | 0.33%          | 5.91%                 |
| 合計  | 1,122,608   | 48,419       | 42,128        | 3,120 | 311  | 20,482  | 16,168 | 2,093 | 87.01%         | 0.28%          | 6.44%                 |

## 古本で日本対がん協会に寄付ができます

読み終えた本やDVDなどを活用しませんか？

詳しくは「チャリボン」 <https://www.charibon.jp/partner/jcs/>  
(ISDNのバーコードがついた書籍類が対象です)

charibon by VALIE BOOKS

お問合せ(株式会社バリューブックス)：0120-826-295  
受付時間：10:00-21:00(月～土) 10:00-17:00(日)